

◎次期教育振興基本計画策定に向けた横須賀の教育の未来像について

1 次期教育振興基本計画の策定

「横須賀の子ども像」「目指す子どもの教育の姿」等を定めた、本市における教育の基本的な計画である「横須賀市教育振興基本計画」の計画期間が令和3年度で終了するため、令和4年度からの次期計画を策定します。

2 計画策定に当たっての基本的な考え方

(1) 目指す姿・理想像を共有する

未来に向けて横須賀の教育が目指す姿・理想像をしっかりと話し合い、市民、保護者、教職員と共有します。

(2) 前提条件の変化を踏まえる

目指す姿を議論するに当たっては、以下をはじめとした現在置かれている様々な状況の変化を踏まえる必要があります。

ア ソフト面の課題

- 確かな学力 低学力層の子どもの増加
- 豊かな心 子どもの問題行動(いじめ・暴力行為)・不登校の増加
- 健やかな体 運動に積極的でない子どもの増加

イ ハード面の課題

- ① 新型コロナウイルス感染症の影響等による社会の変化
- ② 児童生徒数の減少
- ③ 学校施設の老朽化・レッドゾーン(土砂災害特別警戒区域)の存在

このような困難な状況の中でも、後ろ向き・縮小といった思考に陥ることなく、目指す姿の実現に向け、必要なことに取り組んでいくための方向性を示す計画とします。

3 計画策定の流れ

<令和2年度>

(1) 総合教育会議での協議（本日の会議）

市長及び教育委員から「横須賀の子ども像」「目指す子どもの教育の姿」等、未来に向けた思いや考えを伺います。

(2) 教育アンケートの実施（11月に実施・現在集計中）

市民（無作為抽出）・保護者・教員・児童生徒に対し「横須賀の子ども像」「目指す子どもの教育の姿」をどう捉えているかなど、現行計画に掲げる目標・施策に対する実感や望ましい学校像、教員像等を問うアンケートを実施します。

(3) 関係団体ヒアリングの実施（1～3月）

アンケートとは別に、教育に関係する団体に対するヒアリングを実施し、それぞれの立場での課題や意見を把握します。

<令和3年度>

(1) 教育フォーラムの実施（5月）

保護者や地域の方をはじめ、市民に横須賀の教育の未来について夢や理想を自由に語り合っていただく場として、「教育フォーラム」を実施します。

(2) 懇話会による検討（4月～3月）

公募市民、学識経験者、関係団体を構成員とした懇話会を組織し、現行計画期間の検証・次期計画素案に対する意見聴取等を行います。

(3) 教育委員による点検・評価（8月頃）

現行計画の目標・施策に関する点検・評価を、教育委員による会議形式で行います。

(4) 総合教育会議で大綱の策定に関する協議

目指す姿や基本的な方針部分（大綱となる部分）について協議します。

(5) パブリック・コメント手続き

(6) 計画確定